きらりえんまつ

INDEX　vol.69

●page 2～5……みんなの学校　きらりの声
●page 6……市P連情報発信

クイズ　どの校歌が、どこの学校のものか当ててみよう！

どこの校歌でしょう？

1

緑ほほえむ　朝日山
そのふもとへにつどい来て
高い理想に手をにぎり
われらは進む　みな進む

ブロックNo.＿＿＿＿　学校

2

京羅木山の　朝雲ぬいて
そびえる大山　紫におう
おおしくけだかく
のびゆけ　子等と
ああ　あの山が
呼びかける　呼びかける

ブロックNo.＿＿＿＿　学校

3

学びの山の　けわしくて
わけいる道は　多かれど
こめし至誠の一筋に
高嶺の花も　手折るべし

ブロックNo.＿＿＿＿　学校

4

雲もはるばる　むらさきの
出雲の富士の　いただきに
若竹は射る　心の矢
おおしく強く　生きようと

ブロックNo.＿＿＿＿　学校

5

城山はるか　花がすみ
雲とたなびき　寄るところ
われら□の若き子は
学びのちかい美わしく
ちえとわざとを　磨くなり

ブロックNo.＿＿＿＿　学校

6

黒目の山に陽は映えて
鏡とすめる水源地
明るい丘のまなびやで
ちえもからだもすくすくと
□の子らはのびてゆく

ブロックNo.＿＿＿＿　学校

7

流れは清き□川
文化の花の咲くところ
歴史を今につちかいて
知徳をみがき身をおさめ
共にきずかん学徒われ

ブロックNo.＿＿＿＿　学校

8

日がのぼる　波頭はるかな日本海
鳥の羽ばたき　光る澪
御崎に寄せる新潮は
世界の鼓動を告げている
希望よ　ここに□
広く　深く　美しく
心をひらく友がある

ブロックNo.＿＿＿＿　学校

ブロックNo.	学校名	ブロックNo.	学校名
1	生馬小	5	玉湯中
2	持田小	6	佐太小
3	忌部小	7	意東小
4	竹矢小	8	美保関中

答えは中のページに♪

みんなのきらい

1ブロック 生馬小学校

PTA活動

生馬小学校PTAでは、文化研修部と生活環境部の2つにわかれて活動しています。

生活環境部では、毎年恒例で夏休みの終わりに、奉仕作業を行っています。子どもたち・保護者・学校の教職員と一緒になり、校舎や体育館などの窓拭きや、学校周辺の草刈りなどを行っています。

文化研修部では、今年度は「人権教育授業公開」と題して、人権教育の講師を招き、子どもたち・保護者が一緒になって人権問題について考える機会を予定しています。

生馬小学校は、小規模校ではありますが、小さいながらも家庭と地域と学校が一緒になって活動をしています。

（PTA副会長　平田雅人）

答え♪ 5

校歌

作詞　米沢　天涯
作曲　坂本　良隆

一
城山はるか　花がすみ
雲とたなびき　寄るところ
われら生馬の若き子は
学びのちかい美わしく
ちえとわざとを　磨くなり

二
白鳥うかぶ　宍道湖の
水は明るい　ゆめを呼ぶ
われら生馬の若き子は
理想のしらべ高らかに
心あわせて　進みゆく

三
平和の道に　かがやかな
歴史つたえて　名尾が丘
われら生馬の若き子は
希望のつばさうちそろえ
力のかぎり　はばたかん

2ブロック 持田小学校

「持田小のよさ」これからも

縁あって持田小学校勤務10年目となりました。持田小学校では、日々子ども達をサポートし、教育活動に積極的に協力してくださる頼もしい保護者の方々。それは、持田小学校に最初に勤務した当時とかわらない良さだと思っています。これからも子ども達が社会的に自立できる手助けとなる教育活動を保護者、地域の方々と連携して進めていきたいと考えていきます。

（教員　山根善幸）

元気いっぱい持田っ子

3月まで東京都で教員をしておりましたが、この度4月からUターンして勤めております。保護者の方や地域の方の学校に対する信頼が厚く、たくさんのご支援をしていただけるのでとても嬉しいです。伸び伸びと育つ子ども達は、ふるさとの愛すべき宝だなぁ～と実感しています！

（教員　北脇知実）

答え♪ 3

校歌

作詞　井上武次郎
作曲　長岡　敏夫

一
学びの山の　けわしくて
わけいる道は　多かれど
こめし至誠の一筋に
高嶺の花も　手折るべし

二
教えの海の　深くして
寄せくる波は　荒くとも
つとめ励みて　いそしめば
彼方の岸に　いたるべく

三
ああ懐かしき　はらからよ
まことの道を　守りつつ
つとめ励みて　我が校の
ほまれをあげん　もろともに

学校りの声

5ブロック 玉湯中学校

たまゆ文化祭

玉湯中学校では、毎年秋に開催される公民館主催の「たまゆ文化祭」を出校日として全校生徒が展示や発表に参加しています。特に3年生は模擬店運営や管理部門スタッフとして、高校生を中心とした青少年ボランティアグループ「たまゆメンバーズくらぶ」（通称「たまめん」）や地域の方々と一緒になって活動します。模擬店では、焼きそば、たこ焼き、まがたま焼きなど豊富なメニューを作成します。事前に試作会で腕を磨いた後、当日の調理、販売に臨みます。

最近では、学校・地域の伝統行事として定着しており、地域の皆さんにも大変好評をいただいております。

昨年は公民館の改修にともない会場を中学校に移して開催されましたが、元気の良い中学生の掛け声とともに、全てのメニューが終了時間前に完売となりました。これらの模擬店の収益金は中学校の教育活動や青少年育成のために使われています。

調理している様子

販売している生徒たち

この活動を通して生徒たちは地元の人たちと交流を深めながら、ボランティアの大切さを学んでおり卒業後に「たまめん」で活躍する子どもも多く見受けられるようになりました。また、「働くことの大切さ」も併せて学んでいると思います。

今年も10月29日（土）、30日（日）の両日、玉湯公民館を会場に子どもたちの活躍する姿をご覧いただけると思います。是非お出かけいただきたいと思います。

（PTA会長　天野勝文）

答え♪ 7

校歌

作詞　長谷川春男
作曲　長岡　敏夫

一
山野豊かに花かすみ
希望あかるきうみの空
平和な里に生うけて
学びいそしむ若人の
誇りは高し我が校舎

二
流れは清き玉湯川
文化の花の咲くところ
歴史を今につちかいて
知徳をみがき身をおさめ
共にきずかん学徒われ

6ブロック 佐太小学校

川から海へ大航海 in 鹿島2016

佐太小学校では、今年も毎年恒例の夏休み親子活動の一貫として7月24日開催された「川から海へ大航海 in 鹿島2016」に参加しました。これは、鹿島公民館、鹿島町内の小学校3校と生馬青少年を育てる会等で実行委員会を立ち上げ、子どもたちとその保護者を対象にしたイベントです。今年も、準備期間は6月中旬から、イカダ作り、パドル作りと子どもたち、保護者が多数参加して、本番に向け期待も膨らみました。

本番当日は、天候にも恵まれ佐陀川の流れも良く、イカダもスムーズに進んで、出発地点の鹿島マリーナから計11艇が午前9時にスタートし、ゴール地点の古浦海水浴場横の係留場まで予定通りに無事、全艇ゴールしました。ゴール後は、休憩を挟んで、古浦海水浴場まで移動し、砂浜で砂山作り競争、砂浜網引きをして大変盛り上がりました。

最後は、参加児童、保護者、運営スタッフ全員で砂浜の清掃活動を行い、無事全日程を終了しました。

参加した子どもたちとその保護者の方々には、とてもいい想い出ができたと思います。これも、スタッフ、ボランティアの方々のご協力で成り立っており、一保護者として感謝しております。

このように、地域特有のイベントを通して、子どもたちの交流を深め社会貢献の心を育むような活動を行っています。

（PTA監事　井上　真）

答え♪ 1

校歌

作詞　木島俊太郎
作曲　森山　俊雄

一
佐太の流れは　悠々と
わが学びやの　前をゆく
みんな元気でのびのびと
育つよここに　むつまじく

二
頬はバラ色　すこやかに
夢美しく　生い立ちて
知恵もひとみもかがやかに
学ぶよ力　あわせつつ

三
緑ほほえむ　朝日山
そのふもとべにつどい来て
高い理想に手をにぎり
われらは進む　みな進む

7ブロック　意東小学校

お気に入りの本あります！

1年アサガオ調べ

5年おすすめ本の紹介

意東小学校では読書集会やおすすめ本の紹介、ペア読書など、様々な読書活動が行われています。子ども達が沢山の本と出会い、調べる意欲を育てるために、PTA・地域の方々からなるボランティア“にじいろドロップ”さんや図書館整備の方々のお力をお借りして、読み聞かせも行われ「読書が好き」「お気に入りの本がある」と答える子が増えています。また、家庭でも子ども達の読書活動を見守っています。

こうした活動が認められ「平成28年度子ども読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受けました。

これからも読書を通して、言葉を学び、表現力を高め、人生をより深く生きる力を身につけて欲しいと思います。

『がまだせ！熊本』（がんばれ！熊本）

3年生の学年行事 ではPTA学年委員さんが中心となって、熊本地震の被災者への、募金活動が行われました。持ち寄ったうちわに厚紙でプラカードを作ったり、ポスターを作ったり、声出し練習をしてから、近くのスーパーやホームセンターにて、募金活動を開始しました。声出し練習の効果もあって、みんな大きな声で呼びかけができ、小さい子どもから、年配の方々まで沢山の方が募金をしてくださいました。

募金の様子

人の優しさにふれる事ができ、人の為に動いたこの活動は、親も子どもも貴重な学びある体験になったと思います。

（PTA副会長　増田麻紀子）

答え♪ 2

校歌

作詞　篠原　実
作曲　佐藤　寿

一
京羅木山の　朝雲ぬいて
そびえる大山　紫におう
おおしくけだかく　のびゆけ　子等と
ああ　あの山が
呼びかける　呼びかける

二
意東の野原　さざなみゆれる
ひろがる中海　水面が光る
ゆたかに明るく　育てよ　子等と
ああ　あの海が
まねいてる　まねいてる

三
一木一草　むかしを　秘めて
栄える故郷　行くては　広い
仲よくはたらけ　学べよ　子等と
ああ　この土が
ささやくよ　ささやくよ

8ブロック　美保関中学校

楽しいPTA活動

ビーチボールバレー

美保関中学校PTAでは、有意義な活動の一つに文化厚生部が企画するビーチボールバレー大会があります。ボールが軽くて柔らかいので、誰でも気軽に参加できる大会で、PTA会員の親睦を図る楽しい活動です。大会は、美保関小学校統合前の旧3校区（北小学校、東小学校、千酌小学校）の保護者と教職員による、計4チームにて総当り戦を行います。

珍プレーや好プレーがある試合、保護者と先生方の白熱した試合など、どの試合も大いに盛り上がり、参加者みんなの笑顔が絶えない、見ても楽しい、やっても楽しい活動です。

（研修広報部長　田中　豊）

答え♪ 8

校歌

作詞　田中　瑩一
作曲　森山　秀俊

一
日がのぼる　波頭はるかな日本海
鳥の羽ばたき　光る澪
御崎に寄せる新潮は
世界の鼓動を告げている
希望よ　ここに
美保関
広く　深く　美しく
心をひらく友がある

二
国引きの伝えを誇る出雲富士
雪の輝き　薫る風
山脈わたるむら雲は
世紀の明日を告げている
理想よ　ここに
美保関
高く　遠く　たくましく
未来を語る友がある

美保関中学校での新たな出会い

平成28年4月、美保関中学校に赴任し、新たな出会いを迎えました。これまでの勤務校と違う活動もあり、新鮮な気持ちで1年目を迎えています。

一番の違いが朝のスタートです。本校の生徒はほぼ全員がバス通学で、毎朝、長時間バスに乗って登校しています。バスから降りてくると、体育館前に全校生徒が集合し、朝マラソンがスタートします（雨天時は、体育館で縄跳びをします）。毎朝、グラウンドを3周します。1周目はまだ目覚めぬ元気のない声が、2周目、3周目と進む中で、どんどんさわやかな挨拶に変わっていくのがとても印象的です。毎日の朝マラソンのおかげで、学級朝礼時から毎日気持ちよく過ごしています。

（教頭　藤井克典）

朝マラソン

学校の声

3ブロック 忌部小学校

忌部高原まつり

今年も公民館、地元の方々、PTAそして地元の中学生ボランティアが一丸となり、毎年の恒例行事「忌部高原まつり」が開催されました。地元の特産品などの販売やBBQコーナー、ステージイベントなど様々な催しが用意され、地元の方を始め、沢山の人で賑わいました。中でも今年は忌部小4年生の子ども達によるダンスが披露され、訪れた方々の目を楽しませました。

このように地元の活動を通して、子ども達が地域の方々とのつながりを持つことで、普段とは違う何かを学んでいくのだと思う１日でした。

（PTA副会長　渡部幸博）

忌部高原まつり

しじみダンス

8月6日、忌部小学校4年生24人で忌部高原まつりに参加し、まつりのオープニングイベントで、「しじみダンス」を披露しました。このダンスは、昨年度、「しじみソング」（宍道湖漁協公認ソング）に、子どもたちが振り付けを考えつくり上げたものです。7月に子どもたちで話し合い、アレンジを加えながら練習に励みました。最後の練習から2週間近く空けての本番でしたが、息を合わせ、大きな動きで踊りました。地域のまつりで自分たちの役割を果たした子どもたちは、とても満足そうな表情を浮かべていました。暑い夏のひととき、よい思い出ができました。

（教員　小林慶一郎）

答え♪ 6

校歌

作詞　木島俊太郎
作曲　森山　俊雄

一
松江の南水清く
緑の山にかこまれた
平和な愛のふるさとで
頬はばら色すこやかに
忌部の子らは育ちゆく

二
黒目の山に陽は映えて
鏡とすめる水源地
明るい丘のまなびやで
ちえもからだもすくすくと
忌部の子らはのびてゆく

三
歴史も古いこの里の
文化のほこり受けついで
新しい日の輝やかな
希望いだいてもろともに
忌部の子らは進みゆく

4ブロック 竹矢小学校

親の力を高める学びの場

今年度のPTA活動テーマは「絆」です。子ども、保護者、先生、地域の4つの繋がりを深め、明るく楽しい地域作りに貢献することです。今年度からは特に親同士のつながりを深めるために「親学」の開催を年4回、実施予定にしています。7月31日に「家庭学習の習慣を作るには」を開催、参加者は保護者、先生、地域の方総勢18名で、3グループに分かれて、ラベルワークで各自の考えを話し合い、グループで意見をまとめ、各グループで発表して頂きました。ご自身のご家庭の悩みなど一人では解決できなかったことが参加者の意見を聴くことで気づきの場に変わり、参加者からは、「関心」、「覚悟」、「認める」、「ほめる」、「主体性を持たせる」、「心に力を与える」、「子どもと一緒な時間を増やす」など家庭学習を実践するために必要な心構えが共有できて、学びが深まったとの声もありました。

子どもたちだけではなく親、先生、地域ともに学ぶことが子どもたちにとって最幸の地域づくりになると信じています。

（研修部長　山根博幸）

円になって
気づきをシェア

決意表明

答え♪ 4

校歌

作詞　板垣　将成
作曲　牧山　勉

一
春の竹矢の　朝ほらけ
丘の若竹　露あびて
青いみ空に　ささやくよ
高く正しく　伸びようと

二
雲もはるばる　むらさきの
出雲の富士の　いただきに
若竹は射る　心の矢
おおしく強く　生きようと

三
松江の東　野はひらけ
海もみどりに　わたる風
若竹の夢　のせてゆく
平和の国を　つくる夢

新会長挨拶　原　完次

平成28年度松江市PTA連合会の会長を務めさせていただきます原完次と申します。
平素は、市P連の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
今年度の運営方針を「教育環境向上のため家庭･学校･地域とともに学び考えるPTA活動を創造する」とし、「単位PTAの情報交換と交流の促進」「PTA活動の現状把握と課題検討」「楽しく主体的に学べる場の提供」の3つの柱で活動をしていきたいと考えています。
今、子どもたちを取り巻く教育・生活環境は日ごとに変わっています。それらの課題に対応するために各単位PTA間での情報交換や親学などを通して、運営方針の家庭・学校・地域とともに学び考えるPTA活動を創造して行きたいと思いますのでご協力をよろしくお願いいたします。

平成28年度

松江市PTA連合会総会開催

5月28日に鹿島文化ホールにて、松江市ＰＴＡ連合会総会を開催いたしました。総会は各校PTAの代表の皆様が出席され、前年度の事業報告、決算報告ならびに本年度の事業計画、予算の承認を頂きました。
また、あわせてPTA活動に対する長年の功績を称え表彰式を行いました。受賞者および本年度の役員は次の通りです。

〈松江市PTA連合会受賞団体･個人〉
団体表彰：松江市立内中原小学校PTA さやの会様
個人表彰：今井美夏様（第二中）
藤原睦美様（第三中）
小川　正様（第四中）
栗原明弘様（宍道中）
深田浩美様（東出雲中）
津森良治様（本庄中）

〈平成28年度松江市PTA連合会役員〉

会長	原　完次（内中原小）
副会長	今井美夏（第二中）
副会長	寺津豪佐（古志原小）
副会長	木村　忍（鹿島中）
副会長	柏木洋子（八雲中）
総務委員長	小椋章誉（八束学園）
研修委員長	山田　晋（第二中）
母親委員長	花井浩美（第四中）
会報委員長	内村　毅（佐太小）
メディア対策委員長	田部泰典（第一中）

（総務委員長　小椋章誉）

県Ｐ連研修大会に参加して

8月7日に雲南市のアスパルにて開催された研修大会に参加しました。アトラクションは掛合太鼓ジュニアの太鼓で、実践発表は加茂中と赤木中における親学プログラムの実施状況でした。
講演は「子青ては自分育て」というテーマで橘こころ氏が、自らの子青ての体験から得たさまざまな気づきを子育てに忙しいPTA会員に向けてお話されていました。ちなみに、橘こころ氏は「ビリギャル」と呼ばれる映画のモデルとなった女子高生のお母さんだそうです。
講演の中で印象的だった言葉は、「やる気が持てない子は、環境により作られる」でした。やる気を持たせるような生活の実践はなかなか難しいものがありますが、子どもにやる気を持たせられるようこれから頑張って行きたいと決意を新たにする良いきっかけになりました。
（市P連副会長　木村　忍）

第1回 母親委員会研修会を終えて

今年度第1回目の母親委員会研修会について、7月18日、竹矢公民館を会場に開催しました。
当日は、4月14日の熊本大地震を契機に、今一度災害について考えていただきたく、日本赤十字島根県支部天野仁美先生を講師にお迎えし「災害に学ぶ」という講演を伺いました。また講演後には、身近な毛布で人を運ぶ方法を学んだり、風呂敷で簡易リュックサックを作る方法を学びました。また「ハイゼック」という災害時に使用するビニール袋を使って、わかめと梅干を入れたご飯を炊く活動も実施、母親委員の皆さんとの会話にも花が咲き、とても良い研修会になったと思います。当日は63名の方々に参加していただきました。本当にありがとうございました。　（母親委員長　花井浩美）

今後の予定
11月12日（土）第46回日本PTA中国ブロック研究大会とっとり大会（鳥取市）
11月26日（土）島根県PTA連合会　母親委員会研修会（大田市）
12月10日（土）松江市P連研修大会（市民活動センター）

編集後記
会報紙「きらりまつえ」Vol.69は、松江市PTA連合会の組織や取り組み、各ブロックのPTA活動や子どもたちの取り組みなどを紹介させて頂きましたが、どのような会報紙にすれば、より多くの方々に読んでいただけるか、会報委員長をはじめ、役員のみなさんと意見を出し合い作成いたしました。そこで、今回の表紙には校歌の一部を問題として掲載することにしました。私自身、自校の校歌は目にする機会があっても、他校の校歌を見るのは初めてで、なかには分からないのもありましたが、どの学校もそれぞれに地域性のある詩でいい校歌ばかりでした。
今回掲載できたのは、各ブロック代表の校歌だけでしたが、これを機にみなさんの自校の校歌や思いでの校歌を口ずさんで頂いたり、ご家庭や学校などで会話の一部にしてもらえたら幸いです。　（会報委員　副委員長　田中豊）

■平成28年度会報委員（ブロック順、敬称略）

平井　良則	（法吉小）	田尻　直美	（古江小）
平田　雅人	（生馬小）	内村　毅	（佐太小）
野坂　りか	（附属中）	井上　真	（佐太小）
片寄いづみ	（持田小）	吉長美奈子	（八雲中）
千綿　恵	（第三中）	増田麻紀子	（意東小）
渡部　幸博	（忌部小）	田中　豊	（美保関中）
園山　正浩	（湖東中）	金村　美穂	（島根小）
山根　博幸	（竹矢小）	坂田　雅司	（佐太小）
天野　勝文	（玉湯中）	木村　忍	（鹿島中）
吉岡　彰紀	（来待小）		

■編集／松江市PTA連合会　会報委員会
■印刷／株式会社谷口印刷